



2019年6月28日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー ニ ー
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 工 藤 智 昭
(コード番号：6562 東証マザーズ)
問 合 せ 先 管 理 部 長 中 島 文 樹
(TEL. 03-5909-8177)

支配株主等に関する事項について

当社のその他の関係会社であるソフトバンクグループ株式会社及びソフトバンク株式会社について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(2019年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合（%）			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
ソフトバンクグループ株式会社	その他の関係会社	—	31.48	31.48	株式会社東京証券取引所市場第一部
ソフトバンク株式会社	その他の関係会社	31.48	—	31.48	株式会社東京証券取引所市場第一部

2. 親会社等のうち、当社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称及びその理由

当社のその他の関係会社に該当するのは、ソフトバンクグループ株式会社及びソフトバンク株式会社の2社ですが、当社に与える影響が最も大きいと認められるのはソフトバンクグループ株式会社であります。主たる理由としては、ソフトバンクグループ株式会社がソフトバンク株式会社の親会社であり、間接的ではありますが、当社の議決権を31.48%保有しているからであります。

3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

ソフトバンクグループ株式会社の子会社であるソフトバンク株式会社は、当社議決権の31.48%を直接所有する「その他の関係会社」であります。

事業関係においては、2014年10月にソフトバンク株式会社と資本業務提携を締結し、2016年10月より同社が提供する広告配信プラットフォーム「SoftBank Ads Platform」に当社が開発したSSP (Supply Side Platform) 等を提供する等の連携を行っております。

人的関係においては、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く）5名のうち1名は、その豊富な経験に基づく経営体制の強化等を目的として、ソフトバンク株式会社から招聘しております。また、同社の顧問1名が当社の取締役として就任しております。また、従業員については、当社から同社へ8名出向しております。しかしながら、同社と当社の関係は、当社独自の判断を妨げるものではなく、独立性が確保されているものと認識しております。

(役員の状況)

(2019年3月31日現在)

役職	氏名	その他の関係会社における役職
取締役 (非常勤)	仁木 勝雅	ソフトバンク株式会社 顧問
取締役 (非常勤)	藤平 大輔	ソフトバンク株式会社 法人事業統括 法人事業戦略本部 デジタルマーケティング事業統括部 統括部長

なお、ソフトバンク株式会社を含むソフトバンクグループ^注は、「ソフトバンク事業」、「スプリント事業」、「ヤフー事業」、「アーム事業」、「ソフトバンク・ビジョン・ファンドおよびデルタ・ファンド事業」および「ブライトスター事業」を行っており、その中で当社は、「その他」に持分法適用会社として属しておりますが、当社取締役会の承認事項に関して特別取り扱いを定めた契約等は締結しておらず、当社取締役会の独立性は確保されております。

4. 支配株主等との取引に関する事項

2019年3月期の当社のソフトバンク株式会社との取引総額は、275,371千円（当社グループの売上に占める割合は1.8%）、費用に係る取引総額は284,311千円（当社グループの売上原価と販売費及び一般管理費に占める割合は1.9%）であります。また、ソフトバンクグループ^注との取引総額は、1,370,297千円（当社グループの売上に占める割合は9.2%）、費用に係る取引総額は479,833千円（当社グループの原価と販売費及び一般管理費に占める割合は3.1%）であります。

5. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社は、ソフトバンクグループ^注との取引等を行う際には、一般取引先と同様に市場価格等を勘案して公正・適切な決定をしており、少数株主の権利を害することのないよう努めております。

注：ソフトバンクグループ株式会社とヤフー株式会社、ソフトバンク株式会社を含む子会社を意味しております。

以 上